

2016.12.25 例会「同行二人～東葛印旛送り大師の道を歩く 17・10Km」

「同行二人～東葛印旛送り大師の道を歩く」北総歩こう会今年最後の歩き納めの日でした。

☆12月例会 同行二人～東葛印旛送り大師の道を歩く(No,5) 10/17km(コースリーダー 中村義久)

《千葉県 54 ウォーク 柏市、鎌ヶ谷市、松戸市》 団体歩行

日 時／12 月 25 日(日) 9 時 00 分迄集合 参

加費／CWA加盟団体無料・その他 300 円

集 合／高柳近隣センター(東武野田線 高柳駅 徒歩5分)

解 散／

10km=12 時 30 分頃 新鎌ふれあい公園 (東武・北総・新京成線 新鎌ヶ谷駅 徒歩2分)

17km=14 時 30 分頃 やまぶき公園 (新京成線 五香駅 徒歩5分)

コース／高柳近隣センター(WC)～高野堂～宝泉院～鎌ヶ谷市北部公民館(WC)～薬師堂～福太郎アリーナ(昼食・WC)～千寿坊(ショートの札所巡りはここ迄)～稲荷神社～高お神社(WC)～善光寺

〇みどころ 200年以上の歴史を持つ「四国八十八ヶ所東葛印旛大師霊場」を巡拝する7年シリーズの第5年目の行事です。今回は初冬の柏・鎌ヶ谷・松戸をお遍路さんの気分になりながら、7札所と2掛所を巡ります。ロング16km、ショート10kmと誰でも参加しやすいコースです。初参加の方も歓迎します。

午前中は曇り空で寒い朝でしたが

181 名の方が元気に参加いただきました。高柳コミセンのトイレが9時からしか空かないので少し長めの出発式をしてからスタートです。





41 番千寿房の参道が参加者で一杯になりました。



1 回目のトイレ休憩場所の北部公民館です。「**ウォーキング三昧**」

<http://blog.goo.ne.jp/ntt00012> というブログを開いている小梶さんは一番右の方です。こ

の行事の写真も沢山貼
りついていますのでぜひ
開いて見てください。



この写真は自衛隊下総基地滑走路傍にある 16 番薬師堂です。大きな銀杏の
木が目印になります。



途中の福太郎アリーナで食事ですがここから**買い出し担当**として5人で先行。
アクロスモールでミカン40Kgと酒12L・梅酒2L・ウーロン茶4Lと弁当を仕入れてショートコースのゴール地点新鎌ふれあい公園で食事をしながら到着を待ちました。

13時頃ショートコース10Km参加の53名の方が無事到着。ストレッチをしてからミカンと日本酒・梅酒・ウーロン茶で石原副会長の音頭で乾杯。今年一年の無事と来年度の参加をお願いしました。今年最後の例会の振舞酒で乾杯しショートコースは無事終了。



その後残った役員全員で残ったミカンや酒を持って五香のやまぶき公園に移動。17Km のゴールを待ちますが到着は遅れて 15 時になってしまいました。それから **2 度目の振舞酒** で和田さんの音頭で乾杯して、無事レギュラーコースも終了しました。



今年 1 年間歩いていただき有難う御座いました。

来年もよろしくお願い申し上げます。

記事投稿者 遠藤啓一

2016.12.17 新ウオーキングステーション案内ウォーク 12Km

今年 10 月 1 日にオープンしたイヤーラウンドコースを案内する目的で急ぎょ企画いたしました。

集合場所は北小金駅徒歩 5 分の処にある東平賀公園です。8 時 30 分～受付が始まりイヤーラウンドなので北総会員は名簿方式、その他の方は参加申込書を記入して頂きました。今回は共通参加券での受付はできませんでしたのでお手数をおかけしました。

雲一つなく風のない絶好のウォーキング日和となり **127 名**の方が参加いただきました。時速 5.6Km で歩くウサギコース(72 名)と 4.4Km で歩く亀コース(53 名)と二班に分かれ 9 時 20 分公園を出発しました。

12Km のコースは東平賀公園⇒本土寺⇒坂川⇒新松戸南公園(WC)⇒スポーツオーソリティ松戸店(WS 基地)⇒関さんの森⇒鹿島神社というコースでした。

亀さんコースは時間調整で本土寺の山門をくぐりー回りします。入園料がかかるので入口までの短いコースです。



それから富士川に出て歩き坂川と合流します。そこからは真正面に富士山が綺麗に見えました。しばらくこんな感じで川に沿って歩きます。



途中流山電鉄の線路にあたる前に鰭ヶ崎橋を渡って迂回します。



その間トイレはないコースなので新松戸南公園でトイレ休憩です。

予定より 20 分遅れて 11 時 50 分位スポーツオーソリティーに着きました。



ウサギコースがまだ出発していません。プレゼントを貰ったのですがお楽しみ抽選会で時間がかかったそうです。そこで IVV とイヤラウンドパスポートを配り、希望者はそこで解散、本来は北小金駅側の鹿嶋神社で解散式ですが 12 時も回っていて馬橋駅・新松戸駅が近いので希望者が多く流れ解散の形になりました。残った参加者はウサギ(早いコース)も亀コース(ゆっくりコース)も北小金駅まで無事に案内し駅で解散となりました。

予定より解散時間が遅くなり申し訳ありませんでした。

事故もなく歩きやすいコースだったと思います。

大勢ご参加いただきありがとうございました。

投稿担当 遠藤 啓一

2016.12.10 古利根沼(小堀)を巡る

☆12 月いきいきウォーク

12 月 10 日 (土) 古利根沼 (小堀) を巡る 約 7 km

(担当 菊池 靖)

集合 : JR 成田線 湖北駅北口 9 時 00 分迄集合

解散 : 中峠亀田谷公園 (JR 成田線 湖北駅 徒歩 10 分) 11 時 30 分頃

朝から雲ひとつない晴天のもと、集合場所 (JR 成田線 湖北駅前) には、56名の参加者

が集まりました。出発時点では、北風が冷たく感じましたが、歩き出すと徐々に身体が温まってきました。



JR 成田線 湖北駅前の受付風景。



出発前のコース説明を聞いているところです。



最初の休憩場所／中峠(なかびょう) 亀田谷公園に到着。



写真左側が現在の利根川堤防。右側には、古利根沼があります。

歩行している場所は、取手市になっています。

この付近の民家には、土浦ナンバーの車が駐車していました。





小堀地区(古利根沼北側)

* 古利根沼は大正時代中期までは、利根川の本流であり県境ともなっていた。しかし、この地域で利根川の流路が急激に湾曲していたため、台風の襲来による河川の氾濫が絶えなかった。そこで、明治 44 年から大正 9 年の利根川河川改修により流路を直線化し、利根川は現在の位置を流れるようになった。
(Wikipedia より)



古利根沼南側を歩行しています。



芝原城跡。

* 芝原城跡は、中峠(なかびょう)城址ともいわれ、戦国時代には河村氏の居城であったとされた城跡である。



古利根沼を一周して、中峠(なかびょう)亀田谷公園に戻ってきました。

この後、クールダウンをしてから解散しました。

利根川の歴史を実感できた楽しいウォーキングでした。

投稿担当: 島 明良

2016.12.07 忠臣蔵・吉良邸から泉岳寺へ 15km

☆12月平日ウォーク 忠臣蔵・吉良邸から泉岳寺へ 15km 団体歩行 (コースリーダー 平野利夫)

日時/12月7日(水) 9時30分迄集合参加費/北総歩100円・CWA加盟団体200円・その他300円

集合/両国第一児童遊園(JR総武線 両国駅東口 徒歩3分)

解散/15時30分頃泉岳寺前児童遊園(都営地下鉄〈浅草〉線 泉岳寺駅 徒歩3分)

コース/両国第一児童遊園～吉良邸跡～回向院～大高源吾句碑～御船蔵跡(WC)～赤穂義士休憩の地～永代橋～堀部安兵衛武庸の碑～鉄砲州公園(WC)～浅野内匠頭邸跡～築地川公園(昼食・WC)～築地本願寺～浅野内匠頭終焉の地～金杉橋～岡崎藩水野家屋敷跡～亀塚公園(WC)～泉岳寺～泉岳寺前児童遊園

〇みどころ 10年前は参加者142名でした。その後、スカイツリーが建ち、汐留・品川地区が再開発され、沿道の風景も変貌。史実に基づいたルートを踏襲しながら、後半には北総歩こう会ならではの色合いを出したいと思います。

曇天の寒い中、集合場所の両国第一児童遊園に受け付け開始前から参加者が続々と来られ、258名の大勢の参加者となりました。

本日は役員が体調不良、用事等で参加できない方が多く、少ない役員での運営となり、出発式後、いろいろ不安の中スタートしました。



両国第一児童遊園の出発式風景



吉良邸跡に入る本日の参加者の皆さん



回向院に参拝して出てくる参加者



赤穂浪士休息の地の碑の前でリーダーの説明を聞く皆さん



浅野内匠頭邸跡道標を観ながら進む参加者の皆さん



築地川公園で昼食・休憩をしている参加者の皆さん



浅野内匠頭終焉の地の道標を観ながら進む参加者の皆さん



泉岳寺に到着



四十七士の墓標を見学、お参りをする皆さんです

泉岳寺に到着後、自由に見学、赤穂浪士47名のお墓参りをして頂きました。

その後、近くの泉岳寺前児童遊園でクールダウンストレッチ後、解散となりました。

都内を大勢で歩く難しさ(信号待ちによる行列の分断、役員の不足で各史跡のところで十分な説明が出来なかった、参加者の皆さんが歩道いっぱいに広がって歩き、一般の方から注意をされた等)課題も多くありましたので今後に生かしたいと思いました。

今回も多くの皆さんに喜んで頂き、無事故で全員がゴール出来ましたこと、参加者の皆様のご協力と少ないながら頑張ってくれた役員の皆様のお陰と感謝をしております。皆さんご参加有難うございました。

投稿担当 竹渕房夫